

| 行番号 |                   |      | 追加・削除・変更を行う項目                               | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|-------------------|------|---|-------|---|
| 827 |                   |      | てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意                | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 828 |                   |      | パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意             | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 829 |                   |      | アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意            | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 830 |                   |      | 疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆 | 追加    | 疾患に片頭痛を追加。該当項目がないため   |
| 830 |                   |      | 疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆 | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 830 |                   |      | 疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆 | 変更    | 痴呆→認知症への名称変更がある為。脳血管性痴呆→脳血管性認知症   |
| 830 |                   |      | 疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆 | 変更    | 830の中の一過性脳虚血発作は826の脳血管疾患に含めるべき。一過性脳虚血発作は脳血管疾患の一病態であるから。この2つを統合する                                    |
| 830 |                   |      | 疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆 | 追加    | 「Pik病、進行性筋ジストロフィー症、多発性硬化症」を追加。  |
| 831 |                   | 総合演習 | 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる   | 変更    | いわゆる総合問題や症例問題の形式が相当する。受験者の知識、判断力、問題解決能力を総合的に評価するためによしが、出題者側の問題作成能力を高めた上で導入するのがよい。                   |
| 831 |                   |      | 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる   | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 832 | (4)疾患と薬物治療(精神疾患等) | 精神疾患 | 代表的な精神疾患(列挙)                                | 変更    | 代表的な精神疾患  |
| 832 |                   |      | 代表的な精神疾患(列挙)                                | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 833 |                   |      | 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意               | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 834 |                   |      | うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意            | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 835 |                   |      | 疾患：神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症                   | 変更    | 神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症  |
| 836 |                   |      | 疾患：神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症                   | 追加    | 薬剤師として服薬指導が頻繁に行われる不眠症の治療薬を追加する。   |
| 835 |                   |      | 疾患：神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症                   | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |

| 行番号 |  |  | 追加・削除・変更を行う項目                    | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--|--|----------------------------------|-------|---|
| 836 |  |  | 耳鼻咽喉の疾患                          | 変更    | 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患(列挙)  |
| 836 |  |  | 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患(列挙)               | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 837 |  |  | めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意      | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 837 |  |  | めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意      | 変更    | めまいの病態生理→アレルギー性鼻炎の病態生理に変更。アレルギー性鼻炎のほうが重要。   |
| 838 |  |  | 疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  | 変更    | メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  |
| 838 |  |  | 疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  | 追加    | 疾患に扁桃炎を追加。該当項目がないため   |
| 838 |  |  | 疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  | 追加    | 扁桃炎を追加。多い病気なので追加  |
| 838 |  |  | 疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 838 |  |  | 疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎  | 変更    | アレルギー性鼻炎→めまいに変更   |
| 839 |  |  | 皮膚疾患                             | 変更    | 皮膚に関する代表的な疾患(列挙)  |
| 839 |  |  | 皮膚に関する代表的な疾患(列挙)                 | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 840 |  |  | アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 841 |  |  | 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意    | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 842 |  |  | 疾患：蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症    | 変更    | 蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症  |
| 842 |  |  | 疾患：蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症    | 追加    | 褥瘡を追加。多い病気なので追加   |
| 842 |  |  | 疾患：蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症    | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 842 |  |  | 疾患：蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症    | 追加    | 皮膚疾患として、帯状疱疹を追加願います。  |
| 843 |  |  | 眼疾患                              | 変更    | 眼に関する代表的な疾患(列挙)   |

| 行番号 |            | 追加・削除・変更を行う項目                    | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|------------|----------------------------------|-------|---|
| 843 |            | 眼に関する代表的な疾患(列挙)                  | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 844 |            | 緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意      | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 845 |            | 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意      | 変更    | 現在、白内障の適切な治療薬はないので、病態生理まで留めるべきと考える。   |
| 845 |            | 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意      | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 846 |            | 疾患：結膜炎、網膜症                       | 変更    | 結膜炎、網膜症   |
| 846 |            | 疾患：結膜炎、網膜症                       | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 846 |            | 疾患：結膜炎、網膜症                       | 追加    | 加齢黄斑変性を加えていただきたい。患者は増加し、眼の疾患でも罹患率が高い  |
| 847 | 骨・関節の疾患    | 骨・関節に関する代表的な疾患(列挙)               | 変更    | 骨・関節に関する代表的な疾患  |
| 847 |            | 骨・関節に関する代表的な疾患(列挙)               | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 848 |            | 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意     | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 849 |            | 慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 「慢性関節リウマチ」は、現在は「関節リウマチ」と病名が変更されている。   |
| 849 |            | 慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 849 |            | 慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 「慢性関節リウマチ」の「慢性」は削除すべき。既に厚生労働省の特定疾患や日本リウマチ学会でも疾患名は「関節リウマチ」が使用されているから。                                |
| 850 |            | 疾患：変形性関節症、骨軟化症                   | 変更    | 変形性関節症、骨軟化症   |
| 850 |            | 疾患：変形性関節症、骨軟化症                   | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 851 | アレルギー・免疫疾患 | 代表的なアレルギー・免疫に関する疾患(列挙)           | 変更    | 代表的なアレルギー・免疫に関する疾患  |
| 851 |            | 代表的なアレルギー・免疫に関する疾患(列挙)           | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |

| 行番号 |                   | 追加・削除・変更を行う項目                                 | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|-------------------|---|-------|---|
| 852 |                   | アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意          | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 853 |                   | 自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 853 |                   | 自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意 | 変更    | 「膠原病の病態生理、適切な治療薬およびその使用上の注意について説明できる。」に変更。  |
| 854 |                   | 後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意              | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 854 |                   | 先天性免疫不全症                                      | 追加    | 免疫不全症には先天性と後天性があり、コアプログラムには後天性免疫不全症のみ掲載あり。先天性免疫不全症では免疫グロブリンや抗菌性剤及び骨髄移植等の治療が存在する。是非必要である。            |
| 855 | 移植医療              | 移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意                | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げられているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 856 | 緩和ケアと長期療養         | 癌性疼痛に対して使用される薬物(列挙)、使用上の注意                    | 変更    | 癌性疼痛に対して使用される薬物、使用上の注意  |
| 856 |                   | 癌性疼痛に対して使用される薬物(列挙)、使用上の注意                    | 追加    | 救急医療<br>心肺蘇生法、救急処置のABC、中毒の診断と治療、中毒事故の防止など薬剤師の専門的知識が必要   |
| 856 |                   | 癌性疼痛に対して使用される薬物(列挙)、使用上の注意                    | 追加    | 災害医療<br>災害医療の項目がない  |
| 857 |                   | 長期療養に付随する合併症(列挙)、その薬物治療                       | 変更    | 長期療養に付随する合併症、その薬物治療   |
| 858 | 総合演習              | 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる     | 変更    | 疾患例について必要な情報の収集と、適切な薬物治療法の考案  |
| 858 |                   | 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる     | 変更    | いわゆる総合問題や症例問題の形式が相当する。受験者の知識、判断力、問題解決能力を総合的に評価するためによいが、出題者側の問題作成能力を高めた上で導入するのがよい。                   |
| 859 | (5)病原微生物・悪性新生物と戦う | 感染症   | 変更    | 主な感染症(列挙)、その病態と原因   |
| 859 |                   | 主な感染症(列挙)、その病態と原因                             | 変更    | 感染症の種類わけをして細項目をつくる。範囲が広すぎるため  |
| 860 |                   | 抗菌薬   | 追加    | 抗菌薬の作用機序についての項目も必要  |
| 860 |                   | 抗菌薬の作用点に基づく分類                                 | 変更    | 作用点に基づく分類は薬物治療以外の分野で扱うべき。   |
| 860 |                   | 抗菌薬の作用点に基づく分類                                 | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか？一般的だと思いますが。   |
| 861 |                   | 代表的な抗菌薬の基本構造                                  | 変更    | 基本構造は薬物治療以外の分野で扱うべき。  |
| 861 |                   | 代表的な抗菌薬の基本構造                                  | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか？一般的だと思いますが。   |
| 862 |                   | 代表的なβ-ラクタム系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)       | 変更    | 代表的なβ-ラクタム系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症   |
| 862 |                   | 代表的なβ-ラクタム系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)       | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか？一般的だと思いますが。   |
| 863 |                   | テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)              | 変更    | テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症  |

| 行番号 |            | 追加・削除・変更を行う項目                       | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|------------|-------------------------------------|-------|---|
| 863 |            | テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)    | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか?一般的だと思われますが。  |
| 864 |            | マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)      | 変更    | マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症  |
| 864 |            | マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)      | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか?一般的だと思われますが。  |
| 865 |            | アミノ配糖体系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙) | 変更    | アミノ配糖体系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症   |
| 865 |            | アミノ配糖体系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙) | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか?一般的だと思われますが。  |
| 866 |            | ピリドンカルボニル系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)   | 変更    | ピリドンカルボニル系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症   |
| 866 |            | ピリドンカルボニル系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)   | 変更    | グラム陰性、グラム陽性に対する効果は必要ないでしょうか?一般的だと思われますが。  |
| 867 |            | サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症(列挙)           | 変更    | サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症   |
| 868 |            | 代表的な抗結核薬(列挙)、作用機序                   | 変更    | 代表的な抗結核薬、作用機序   |
| 868 |            | 代表的な抗結核薬(列挙)、作用機序                   | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 869 |            | 細菌感染症に関する代表的な生物学的製剤(列挙)、その作用機序      | 変更    | 細菌感染症に関する代表的な生物学的製剤、その作用機序  |
| 869 |            | 真菌感染症に関する代表的な生物学的製剤(列挙)、その作用機序      | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 870 |            | 代表的な抗菌薬の使用上の注意                      |       |   |
| 871 |            | 特徴的な組織移行性を示す抗菌薬(列挙)                 | 変更    | 特徴的な組織移行性を示す抗菌薬   |
| 872 | 抗原虫・寄生虫薬   | 代表的な抗原虫・寄生虫薬(列挙)、作用機序および臨床応用        | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 873 | 抗真菌薬       | 代表的な抗真菌薬(列挙)、作用機序および臨床応用            | 変更    | 代表的な抗真菌薬、作用機序および臨床応用  |
| 873 |            | 代表的な抗真菌薬(列挙)、作用機序および臨床応用            | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 874 | 抗ウイルス薬     | 代表的な抗ウイルス薬(列挙)、作用機序および臨床応用          | 変更    | 代表的な抗ウイルス薬、作用機序および臨床応用  |
| 874 |            | 代表的な抗ウイルス薬(列挙)、作用機序および臨床応用          | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 875 |            | 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点(列挙)           | 変更    | 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点   |
| 876 | 抗菌薬の耐性と副作用 | 主要な化学療法薬の耐性獲得機構                     | 変更    | 耐性獲得機序については薬理学の分野で扱うべき。   |
| 876 |            | 主要な化学療法薬の耐性獲得機構                     | 変更    | 「耐性菌の出現〔小項目〕、〔到達目標〕」へ変更。主要な化学療法薬に対する(耐性菌の)耐性獲得機構〔到達目標〕より明確である。                                    |
| 877 |            | 主要な化学療法薬の主な副作用(列挙)、その症状             | 変更    | 主要な化学療法薬の主な副作用、その症状   |
| 877 |            | 主要な化学療法薬の主な副作用(列挙)、その症状             | 追加    | 「化学療法薬の選択と副作用〔小項目〕、〔到達目標〕」を追加。感染症による化学療法薬の選択法〔到達目標〕に追加。耐性菌の出現を防ぐための化学療法薬の使用法を追加したほうが良い。           |
| 878 | 悪性腫瘍の病態と治療 | 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療                     | 変更    | 各項目の最小項目には、代表的な疾患の病態生理とそれに用いる治療薬、および使用上の注意と掲げているが、病態生理と治療薬の使用は別科目(医学概論系と薬理・臨床薬剤系)であり、それぞれ分けた方がよい。 |
| 879 |            | 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけ                |       |   |
| 880 |            | 化学療法薬が有効な悪性腫瘍(治療例の列挙)               | 変更    | 化学療法薬が有効な悪性腫瘍(治療例)  |
| 881 | 抗悪性腫瘍薬     | 代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)                      | 変更    | 代表的な抗悪性腫瘍薬  |

| 行番号 |  | 追加・削除・変更を行う項目                     | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--|-----------------------------------|-------|---|
| 881 |  | 代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)                    | 追加    | 抗腫瘍薬として、化学療法剤などとともに分子標的治療薬が開発、使用されてきている。そこで抗腫瘍薬の項目に「代表的な分子標的治療薬(列挙)、作用機序」を追加するというのはいかでしょうか。 |
| 881 |  | 代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)                    | 追加    | 代表的な分子標的治療薬を追加。該当項目がないため  |
| 881 |  | 代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)                    | 削除    | 882~888で各抗悪性腫瘍薬についての項目があるので総論的なこの項目はあえていないのでは   |
| 882 |  | 代表的なアルキル化薬(列挙)、作用機序               | 変更    | 代表的なアルキル化薬、作用機序   |
| 882 |  | 代表的なアルキル化薬(列挙)、作用機序               | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 883 |  | 代表的な代謝拮抗薬(列挙)、作用機序                | 変更    | 代表的な代謝拮抗薬、作用機序  |
| 883 |  | 代表的な代謝拮抗薬(列挙)、作用機序                | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 884 |  | 代表的な抗腫瘍抗生物質(列挙)、作用機序              | 変更    | 代表的な抗腫瘍抗生物質、作用機序  |
| 884 |  | 代表的な抗腫瘍抗生物質(列挙)、作用機序              | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 885 |  | 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイド(列挙)、作用機序 | 変更    | 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイド、作用機序   |
| 885 |  | 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイド(列挙)、作用機序 | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 886 |  | 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬(列挙)、作用機序  | 変更    | 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬、作用機序  |
| 886 |  | 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬(列挙)、作用機序  | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 887 |  | 代表的な白金錯体(列挙)、作用機序                 | 変更    | 代表的な白金錯体、作用機序   |
| 887 |  | 代表的な白金錯体(列挙)、作用機序                 | 変更    | 基本的な作用点機序については薬理学の分野で扱うべき。  |
| 887 |  | 代表的な白金錯体(列挙)、作用機序                 | 追加    | 「代表的な分子標的治療薬の特徴と作用機序を説明できる。」を追加。分子標的治療薬は既存の悪性腫瘍治療薬の分類には当てはまらないため、新規の項目を追加する必要がある            |
| 888 |  | 代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造                   | 変更    | 基本構造は薬物治療以外の分野で扱うべき。  |
| 889 |  | 抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用                     | 変更    | 主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構   |
| 889 |  | 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用(列挙)、その症状          | 変更    | 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用、その症状  |

C15 薬物治療に役立つ情報

| 行番号 | 追加・削除・変更を行う項目   | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|---|-------|---|
| 892 | (1)医薬品情報<br>情報<br>医薬品として必須の情報(列挙)   | 変更    | 医薬品として必須の情報   |
| 893 | 医薬品情報に関わっている職種(列挙)とその役割   | 変更    | 医薬品情報に関わっている職種とその役割   |
| 894 | 医薬品の開発過程で得られる情報の種類(列挙)  | 変更    | 医薬品の開発過程で得られる情報の種類  |
| 895 | 医薬品の市販後に得られる情報の種類(列挙)   | 変更    | 医薬品の市販後に得られる情報の種類   |
| 895 | 医薬品の市販後に得られる情報の種類(列挙)   | 追加    | 有害事象と副作用の相違を知る。各々の定義と医療従事者として対応すべき情報提供の範囲を学ぶ。                                       |
| 896 | 医薬品情報に関する代表的な法律と制度  |       |   |
| 897 | 情報源<br>医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料  |       |   |
| 898 | 医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料(列挙)とそれらの特徴  | 変更    | 医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料とそれらの特徴  |
| 899 | 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料(列挙)とそれらの特徴  |       |   |
| 900 | 医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途  |       |   |
| 901 | 医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目(列挙)とその必要性  | 変更    | 医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目とその必要性  |
| 902 | 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途   |       |   |
| 903 | 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け   | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 903 | 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け   | 削除    | 「医薬品インタビューフォームの位置づけと用途」が理解できるならば、この項目は特に必要ない。                                       |
| 903 | 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け   | 追加    | 患者向医薬品情報(一般向)の種類を知る薬のしおりだけでなく、患者向けの添付文書として「患者向医薬品ガイド」が作成されてきたため情報提供内容として理解しておく必要あり。 |
| 903 | 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け   | 追加    | 重篤な副作用の初期症状とその対策を知る。「重篤副作用疾患別対策マニュアル」が作成されているが、但し、120疾患は現在作成進行中です。                  |
| 903 | 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け   | 追加    | 適正使用に不可欠な情報を列挙し、内容を具体化させる。  |
| 904 | 収集・評価・加工・提供・管理<br>目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる | 変更    | 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集                        |
| 904 | 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる                   | 削除    | 検索・収集は、記述試験に該当しない。  |
| 904 | 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる                   | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 905 | 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目(列挙)   | 変更    | 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目   |
| 906 | 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる   | 変更    | 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供  |
| 906 | 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる   | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |

| 行番号 | 追加・削除・変更を行う項目                                   | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|---|-------|---|
| 906 | 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる                       | 削除    | 906行の内容は、907行に知的所有権、守秘義務の配慮を記載するならば必要ない。  |
| 907 | 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する               | 変更    | 医薬品情報の加工、提供、管理の際の、知的所有権、守秘義務に配慮について   |
| 907 | 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する               | 変更    | 「Aヒューマニズム」へ移動する。  |
| 907 | 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する               | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 908 | 主な医薬品情報の提供手段(列挙)、それらの特徴                         | 変更    | 主な医薬品情報の提供手段、それらの特徴   |
| 909 | データベース<br>代表的な医薬品情報データベース(列挙)、それらの特徴            | 変更    | 代表的な医薬品情報データベース、それらの特徴  |
| 910 | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる | 変更    | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解   |
| 910 | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる | 削除    | 記述試験に該当しない。   |
| 910 | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 910 | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる | 削除    | 紙ベースの試験で問う項目ではないと感じる  |
| 910 | 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる | 削除    | 909行の項目で充分に補える。   |
| 911 | インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる                   | 削除    | 910、911の含まれる  |
| 911 | インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる                   | 削除    | インターネットの利用などは実地試験である。記述試験に該当しない。  |
| 911 | インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる                   | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 911 | インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる                   | 削除    | 紙ベースの試験で問う項目ではないと感じる  |
| 912 | EBM(Evidence-Based Medicine)<br>EBMの基本概念と有用性    |       |   |
| 913 | EBM実践のプロセス                                      | 削除    | EBM実践とプロセスは範囲に限界がない。  |
| 914 | 臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所          |       |   |
| 915 | メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる                         | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 916 | 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い                         | 削除    | 真のエンドポイントを薬学的医療関係者としての見解のみで決定することは出来ない。   |
| 916 | 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い                         | 変更    | 「真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い」という表現であるが、代用は英文の surrogate を直訳した表現で分かりにくい。表現として「真のエンドポイント」は「最終エンドポイント」に、また、「代用エンドポイント」は「中間エンドポイント」に変更した方が分かりやすい。 |
| 916 | 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い                         | 削除    | 意味を理解しにくいので必要ない。  |
| 917 | 臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)                  |       |   |

| 行番号 |                    |          | 追加・削除・変更を行う項目                              | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--------------------|----------|--|-------|---|
| 918 |                    | 総会演習     | 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目(列挙)                  | 変更    | 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目   |
| 918 |                    |          | 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目(列挙)                  | 追加    | 「薬事委員会」病院等で医薬品の採用等の事項は薬事委員会で決定される。以前の出題基準にはこの項目は存在したと思うが「何故削除されたのであろうか?出題例がなかったからか?復活して是非出題して欲しい。」  |
| 918 |                    |          | 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目(列挙)                  | 追加    | 「重要な診療・薬物療法ガイドラインについて説明出来る。」<br>診療・薬物療法ガイドラインが医療現場で使用され、かつ医療現場で重要視されている。  |
| 919 |                    |          | 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる | 削除    | 1299に同じ   |
| 919 |                    |          | 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる | 削除    | 内容が高度であり、時間的にも長くなりすぎる。  |
| 919 |                    |          | 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 919 |                    |          | 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる | 変更    | 英語論文でもよいのか。日本語の論文とする方が現実的ではないであろうか。もちろん、英語論文で行なうことが必要であることは承知するが、理想を振りかざしても仕方ないのではなかろうか。  |
| 920 | (2)患者情報            | 情報と情報源   | 薬物治療に必要な患者基本情報(列挙)                         |       |   |
| 921 |                    |          | 患者情報源の種類(列挙)、それぞれの違い                       |       |   |
| 922 |                    | 収集・評価・管理 | 問題志向型システム(POS)                             |       |   |
| 923 |                    |          | 薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる                | 削除    | 実務にも含まれている  |
| 924 |                    |          | 患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる            | 削除    | 実務にも含まれている  |
| 925 |                    |          | 得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する      | 削除    | 実務にも含まれている  |
| 926 |                    |          | SOAPなどの形式で患者記録を作成する                        | 変更    | SOAPなどの形式で患者記録の作成   |
| 927 |                    |          | チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる              | 変更    | チーム医療において患者情報の共有  |
| 927 |                    |          | チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じ取る              | 削除    | 「感じとる」ことを評価するのは困難である。   |
| 928 |                    |          | 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる          | 変更    | 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性   |
| 928 |                    |          | 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる          | 変更    | 「守秘義務を遵守する」ことを評価するのは困難である。また、「Aヒューマニズム」での出題が適切である。  |
| 929 |                    |          | 薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因(例示)                   | 変更    | 薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因  |
| 929 | (3)テーラーメイド薬物治療を指して | 遺伝的素因    | 薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因(例示)                   | 追加    | 小項目に「性別素因」を追加して頂きたい。薬理学においては、以前より教科書レベルにおいても薬理作用に影響を及ぼす因子として「性別」があげられている。(薬理学 粕谷・加藤・重信編、南江堂)また、模試Bに述べるように内閣府、厚生省としても任意を考慮した医療の推進を図っているところであり、今後個別化薬物療法では性別素因が益々重要となり、薬剤師の貢献が必要となると思われるから。 |
| 930 |                    |          | 薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因(例示)                     | 変更    | 薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因  |

| 行番号 |  |       | 追加・削除・変更を行う項目                   | 意見の種別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--|-------|---------------------------------|-------|---|
| 931 |  |       | 遺伝的素因を考慮した薬物治療(例示)              | 変更    | 遺伝的素因を考慮した薬物治療  |
| 932 |  | 年齢的素因 | 新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点           |       |   |
| 933 |  |       | 幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点            |       |   |
| 934 |  |       | 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点              |       |   |
| 935 |  | 生理的素因 | 生後、妊娠時における薬物治療で注意すべき点           |       |   |
| 936 |  |       | 授乳期に対する薬物治療で注意すべき点              |       |   |
| 937 |  |       | 栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点 |       |   |
| 938 |  | 合併症   | 腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点       |       |   |
| 939 |  |       | 肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点       |       |   |
| 940 |  |       | 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点       |       |   |
| 941 |  | 投与計画  | 患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与計画ができる      | 変更    | 患者固有の薬動的パラメーターを用いた投与計画  |
| 941 |  |       | 患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与計画ができる      | 変更    | 同じ内容を問うことになるので、943と結合した方がいいと思われる。   |
| 941 |  |       | 患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与計画ができる      | 追加    | 合併症、併用薬(その他)禁忌を考慮の上で、腎臓、肝臓、心臓だけでは不足   |
| 941 |  |       | 患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与計画ができる      | 変更    | 薬物動態学的薬物動態学と薬力学が一般的と考える   |
| 942 |  |       | ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用       | 変更    | 薬物動態の解析へ項目を移動する。  |
| 942 |  |       | ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用       | 変更    | 薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がいいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。   |
| 943 |  |       | 薬動力学的パラメーターを用いて投与計画ができる         | 変更    | 薬動力学的パラメーターを用いた投与計画   |
| 943 |  |       | 薬動力学的パラメーターを用いて投与計画ができる         | 追加    | セルフメディケーションを追加。セルフメディケーションを安全に推進するための薬剤師の役割を説明できる   |
| 943 |  |       | 薬動力学的パラメーターを用いて投与計画ができる         | 変更    | 薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がいいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。   |
| 943 |  |       | 薬動力学的パラメーターを用いて投与計画ができる         | 変更    | 同じ内容を問うことになるので、941と結合した方がいいと思われる。   |
| 943 |  |       | 薬動力学的パラメーターを用いて投与計画ができる         | 変更    | 薬力学薬物動態学と薬力学が一般的と考える  |
| 944 |  |       | 薬物作用の日内変動を考慮した用法                | 変更    | 薬物動態の解析へ項目を移動する。  |
| 944 |  |       | 薬物作用の日内変動を考慮した用法                | 変更    | (変更前)薬物作用の日内変動を考慮した用法(変更後)薬物作用の日リズムを考慮した用法<br>時計遺伝子の発現により、治療において体内変動(例、生体リズム)は昼夜変動と同様重要であると認識されています。日内変動より「日リズム」の方がイメージしやすいと考えます。 |
| 944 |  |       | 薬物作用の日内変動を考慮した用法                | 追加    | 944の次に、治療計画を追加する。治療計画が薬物動態・薬力学の変容に左右されることを理解させる項目が必要。   |
| 944 |  |       | 薬物作用の日内変動を考慮した用法                | 追加    | 以下の項目を追加する。<br>・薬物投与後の効果の時間推移をシミュレートできる。<br>・血中濃度と効果・副作用発現の時間的ズレを理解できる。   |

| 行番号 |  | 追加・削除・変更を行う項目    | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--|------------------|-------|---|
| 944 |  | 薬物作用の日内変動を考慮した用法 | 変更    | 薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がいいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。 |
| 944 |  | 薬物作用の日内変動を考慮した用法 | 追加    | 小項目に治療計画を追加。治療計画が薬物動態に左右される項目が必要と考える。                         |
| 944 |  | 薬物作用の日内変動を考慮した用法 | 追加    | 薬物投与後の効果の時間推移をシミュレートできる。治療計画が薬物動態に左右される項目が必要と考える。             |
| 944 |  | 薬物作用の日内変動を考慮した用法 | 追加    | 血中濃度と効果発現の時間的ずれを理解できる。治療計画が薬物動態に左右される項目が必要と考える。               |

## C16 製剤化のサイエンス

| 行番号 |            | 追加・削除・変更を行う項目           | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|------------|-------------------------|-------|---|
| 945 | (1)製剤材料の性質 | 物質の溶解                   | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 945 |            | 溶液の濃度と性質                | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 946 |            | 物質の溶解とその速度              | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 946 |            | 物質の溶解とその速度              | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 947 |            | 溶解した物質の透過速度             | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 947 |            | 溶解した物質の透過速度             | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 948 |            | 物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割   | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 948 |            | 物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割   | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 949 |            | 分散系                     | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 949 |            | 界面の性質                   | 追加    | 分散系に、「分散粒子の安定性」を追加「分散粒子の沈降現象」だけでなく、沈降せずに安定に分散することも重要である。                      |
| 949 |            | 界面の性質                   | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 950 |            | 代表的な界面活性剤の種類と性質         | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 950 |            | 代表的な界面活性剤の種類と性質         | 変更    | 界面活性剤を界面活性剤に変更する。(コアカリキュラムを参照。)   |
| 950 |            | 代表的な界面活性剤の種類と性質         | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 951 |            | 乳剤の型と性質                 | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 951 |            | 乳剤の型と性質                 | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 951 |            | 乳剤の型と性質                 | 削除    | 乳剤は分散系の一つであり、952行の代表的な分散系の種類と性質に含まれるため  |
| 952 |            | 代表的な分散系(列挙)とその性質        | 変更    | 代表的な分散系とその性質  |
| 952 |            | 代表的な分散系(列挙)とその性質        | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 952 |            | 代表的な分散系(列挙)とその性質        | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 953 |            | 分散粒子の沈降現象               | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 953 |            | 分散粒子の沈降現象               | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 954 |            | 製剤材料の物性                 | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 954 |            | 流動と変形(レオロジー)の概念、代表的なモデル | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。 |
| 955 |            | 高分子の構造と高分子溶液の性質         | 削除    | 内容が高度で多岐にわたるため、受験生に負担が大きいと思います  |

| 行番号 |           |        | 追加・削除・変更を行う項目                | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|-----------|--------|------------------------------|-------|---|
| 955 |           |        | 高分子の構造と高分子溶液の性質              | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 955 |           |        | 高分子の構造と高分子溶液の性質              | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 956 |           |        | 製剤分野で汎用されている高分子の物性           | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 956 |           |        | 製剤分野で汎用されている高分子の物性           | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 957 |           |        | 粉体の性質                        | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 957 |           |        | 粉体の性質                        | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 958 |           |        | 製剤材料としての分子集合体                | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 958 |           |        | 製剤材料としての分子集合体                | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 959 |           |        | 薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法(列挙) | 変更    | 「薬物と製剤材料の安定性試験及び評価ができる。安定化要因及び安定化方法の適用ができる。」に変更すべき。行番号67～76「C:物質の物理的性質(4)物質の変化 反応速度」の項目は項目を削除すべき。基礎薬学の試験は既にCBTで済んでいるから。 |
| 959 |           |        | 薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法(列挙) | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 959 |           |        | 薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法(列挙) | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 960 |           |        | 粉末X線回折測定法の原理と利用法             | 削除    | 行番号96「製剤材料の物性を測定できる。」の項には日本薬局方一般試験法収載の「粉末X線回折測定法」を含んでいるので、あえてこの項だけを特段に設ける必要はないと考える。                                     |
| 960 |           |        | 粉末X線回折測定法の原理と利用法             | 削除    | 物流のグローバル化における意義は大きいでしょうが、技術的過ぎる内容と思います。   |
| 960 |           |        | 粉末X線回折測定法の原理と利用法             | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 960 |           |        | 粉末X線回折測定法の原理と利用法             | 削除    | 純粋な基礎薬学問題であれば不要。CBTでの評価でよい。ただし、これらの領域を応用・発展させた現実的な医療薬学に関する問題であれば、出題しても差し支えない。   |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 変更    | 製剤材料の物性の測定  |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 削除    | 内容が高度で多岐にわたるため、受験生に負担が大きいと思います  |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 削除    | 基礎的な部分であり、CBT試験での出題で十分  |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 削除    | 技能であり内容が漠然としている   |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 追加    | 粉末X線回折だけでなく熱分析法(示差熱分析法、示差走査熱量測定法、熱量測定法)の原理と利用法も加えたら良いと思います。結晶特性を調べる方法の中で粉末X線回折のみが取り上げられるのはどうかと思います。                     |
| 961 |           |        | 製剤材料の物性を測定できる                | 変更    | 「測定できる」の評価が難しいので、「物性の測定法を列挙し、原理が説明できる」などに変更した方が良いと思われます。  |
| 962 | (2)剤形をつくる | 代表的な製剤 | 代表的な剤形の種類と特徴                 |       |   |

| 行番号 |  |     | 追加・削除・変更を行う項目         | 意見の類別 | 意見及びその理由等   |
|-----|--|-----|-----------------------|-------|---|
| 963 |  |     | 代表的な固形製剤の種類と性質        | 追加    | それぞれの項目の最後に「ならびに製法」中項目のタイトルが「剤形をつくる」であることから、小項目においても、各製剤についても、「種類と性質」だけでなく「製法」についても項目に加えるべきであると考える。   |
| 964 |  |     | 代表的な半固形製剤の種類と性質       | 追加    | それぞれの項目の最後に「ならびに製法」中項目のタイトルが「剤形をつくる」であることから、小項目においても、各製剤についても、「種類と性質」だけでなく「製法」についても項目に加えるべきであると考える。   |
| 965 |  |     | 代表的な液状製剤の種類と性質        | 追加    | それぞれの項目の最後に「ならびに製法」中項目のタイトルが「剤形をつくる」であることから、小項目においても、各製剤についても、「種類と性質」だけでなく「製法」についても項目に加えるべきであると考える。   |
| 966 |  |     | 代表的な無菌製剤の種類と性質        | 追加    | それぞれの項目の最後に「ならびに製法」中項目のタイトルが「剤形をつくる」であることから、小項目においても、各製剤についても、「種類と性質」だけでなく「製法」についても項目に加えるべきであると考える。   |
| 967 |  |     | エアゾール剤とその類似製剤         | 追加    | それぞれの項目の最後に「ならびに製法」中項目のタイトルが「剤形をつくる」であることから、小項目においても、各製剤についても、「種類と性質」だけでなく「製法」についても項目に加えるべきであると考える。   |
| 968 |  |     | 代表的な製剤の有効性と安全性評価法     | 追加    | 「ならびに添加量の計算」要求HLBや等張化に関する計算を追加する。これらの計算能力は、従前から薬剤師としての基本的素養であると考える。   |
| 968 |  |     | 代表的な製剤添加物の種類と性質       | 追加    | 添加剤の変更に伴う薬効への影響を知る必要がある。ジゴキシンの特効もあった。   |
| 969 |  |     | 代表的な製剤の有効性と安全性評価法     | 変更    | この項目は、973と関連が深く、別の項目として取り扱うべきではない。そのため、小項目の「製剤化」と「製剤試験法」を新たに、「製剤化と製剤試験法」という項目に整理し、969および973は「製剤の有効性と安全性の評価」とすればよい。日本薬学会編スキャンダード薬学シリーズでも、973と重複するため、短い解説に終わってしまった。 |
| 970 |  |     | 製剤化の単位操作および汎用される製剤機械  | 削除    | 製品製造の各ステップの装置の名称を含め十分な知識が必要とは考えられない。但し、錠剤コーティング、製剤と生物薬学特性についての新項目が必要。   |
| 970 |  | 製剤化 | 製剤化の単位操作および汎用される製剤機械  | 削除    | 薬剤師として、この知識を持っているのは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える   |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 変更    | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製   |
| 971 |  |     | 単位操作を組合わせて代表的製剤を調製する  | 削除    | 「理由」兼記試験とした場合、各「代表的な製剤の種類と性質」および「製剤化の単位操作および汎用される製剤機械」の範囲に完全に含まれると考えられるため   |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 削除    | 内容が高度で多岐にわたるため、受験生に負担が大きいと思います  |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 変更    | 項目は必要だと思うが、技能の表現のままではなく、「単位操作を組み合わせた代表的製剤の調製工程」というように変更してはどうでしょうか。  |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 削除    | 出題するのに相応しくない。   |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 削除    | 薬剤師として、この知識を持っているのは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える   |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 変更    | 「単位操作を組み合わせて代表的な製剤を調製する方法を説明できる」とする   |
| 971 |  |     | 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する | 追加    | 単位操作を組み合わせる製剤工程は必要  |